

令和元年11月14日 00456号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】

武道振興協議会臨時評議員会の開催！



11月6日(水)北見市武道館において北見市武道振興協議会(武藤弘司会長)の臨時評議員会が開かれました。来年度の「北見市総合武道祭」が25回目を迎えるにあたり、令和2年度記念事業として開催されることが決まりました。また、武道功績者への表彰も行われ、同日、市内のホテルにおいて記念祝賀会も予定されています。

小さなお客様！松川なつき(小4)寺下恵理(先生)東海林菜子(小2)鈴木月唯(小2)奥山恵菜(小2)5人のみなさま「笑顔」

「ジャズヒップホップダンス」を習う子供たちが、寺下恵理先生と一緒に窓口に来てくれました。先生の隣には、ピースサインの松川なつきさん、ダンス歴4年で、大人のレッスンにも加わることもあるようです。前列右の奥山恵菜さん、写真中央の鈴木月唯さん、写真左の東海林菜子さんは、ダンス歴2年で、武道館多目的道場を使って、大人の時間より早くレッスンが行われます。みなさん、とても笑顔がかわいいです。今後も、素敵な笑顔でジャズヒップホップダンスを楽しんでくださいね。(坪井洋子)



武道振興。〈事務所の花シリーズ「ツリバナ(しれとこマユミ)」

ツリバナ(しれとこマユミ)の仲間のなかでも、ひときわ大きく丸い実を、柄に数個ずつぶらさがり、とても人気があります。赤い実が割れて、中から小粒の種が下がってくると、我が家のしれとこツリバナは、カラスがタネを食べにやってきて、地面には大きな実をボロボロと落としていきます。(渋谷)

連載「武道宝鑑」第22弾 剣術極意(千葉周作遺稿『剣法秘訣』より) 剣術修行心得(33日回目)

余の修行中、突きを入れたる節は、何時も向こうの裏へ二三尺も突き貫く心持にて突きたるなり、斯様になくえは、向うへ強くは当たらぬものなり。敵出る頭へ、此の方諸手にて鞆たもとを向こうへ一文字に延ばせば、向こうより自然と突き掛かることあり、これを俗に利生突きという。この業を為すには、始終向こうへ追いかぶさるようにて、向うの鞆たもとを押へ押し居て、向うの起きる頭へ出さねば、此の突きは無益にて、恐ろし、怖しという此の方に心配あつては、逆も出来ぬ業なり。下段などにて向こうを追い込み、突かんとし、ても透き間なくば、此の方少しく滞り見るべし、向う必ずその事を不審に思うものなり、その所を遁のがさず突けば、快く突き留められるものなり、試し見るべし。此の方は上段、向こうは・・・つづく